

JICAボランティア 〈平成22年度秋募集〉

現在美波町の2名の方が活動しています、JICAにおいて、次のとおり平成22年度秋募集を行います。

■募集期間 10月1日(金)～11月8日(月)

■応募資格

- ・青年海外協力隊
11月8日現在で満20歳～満39歳で日本国籍を持つ方
 - ・シニア海外ボランティア
11月8日現在で満40歳～満69歳で日本国籍を持つ方
- ※合格後は、事前語学学習など各種研修を受けることとなります。

■お問い合わせ先

JICA四国 ☎087-821-8824

11月 まちの相談カレンダー

2日	火	心配ごと相談 (13:00～15:00) 地域交流支援センター
4日	木	心配ごと相談 (9:00～12:00) 日和佐隣保館
9日	火	人権相談 (9:00～12:00) 日和佐隣保館
		心配ごと相談 (13:00～15:00) 地域交流支援センター
10日	水	行政相談 (13:00～15:00) 由岐老人福祉センター
11日	木	心配ごと相談 (9:00～12:00) 日和佐隣保館
		行政相談 (9:00～12:00) 日和佐隣保館
16日	火	心配ごと相談 (13:00～15:00) 地域交流支援センター
18日	木	心配ごと相談 (9:00～12:00) 日和佐隣保館
25日	木	心配ごと相談 (9:00～12:00) 日和佐隣保館
30日	火	心配ごと相談 (13:00～15:00) 地域交流支援センター

町民文芸

由岐句会

つくつくし城址に残る火伏神
看護師の瞳爽やかてきばきと
水澄みて川底雲が流れ行く
海桐の実多き島浦雲焼けて
意のままにならぬ人生葛の花
ひとしきり鳴いて飛びけり法師蟬
神の井につづく小径や海桐の実
名水をラッパ飲みして秋に入る
稲刈つて風の縦横無尽かな
うすもの凛と小暗し美術館
倒伏の稲田に農夫愚痴こぼす
落蝉や真白き雲の留まれり
秋暑し代表選挙の一騎打ち

寺口 春魚
住谷 喜舟
米山 玉子
由岐 亮子
戎谷 久代
松内 きぬ
戎谷 利公
下町 昭
森 浄子
中川 秀司
海部夫志子
奥田 理
森本富美子

木岐句会

初月夜磯にざわめく波明り
四国路は千の棚田に彼岸花
前山を押上げている竹の春

青山 文夫
勝瑞 高春
三谷 静枝

日和佐短歌会

畑に出て秋の日あびて鎌にぎる八十五才の吾の遊び場
熱中症快復のきざし見えざれば夜のしじまにクイズと遊ぶ
葦の咲く庭に畑に野辺までも萼はぐるれば小花三十余
用終えて色あせし案山子ねぎらいの言葉かけつつ連れ帰り来る
秋いまだ昼間猛暑は続きおり夜は虫達の大コンサート
稜線の際立ちし朝碧空に弧を描きいし鶯不意に流るる
寄り道に訪う薬王寺山門を入れば目にしむ白萩の白

田川 幸枝
山本 光
福井 郁子
栗林 和子
小延 恭弘
谷崎 吉加
本庄たゑ子

投稿(短歌)

空海の開きし寺の奥の院大師は御座す玉厨子の山
つつがなく頭屋のしるしの紙垂ゆれて風にまかせるあしたあさって

舩越 儀雄
下町 昭

日和佐句会

肩肘を張らぬ暮しや冷奴
六地藏赤いシャツポの秋彼岸
島山に童画めきたる月上げて
秋風鈴豊かなる風貫いけり
たつぷりと処暑の水飲み風呂上り
一言で足りる挨拶さやけしや
悠然と帆船並ぶ夏夕べ
簾より内はわが城昼寝の子
蛸や子はそれぞれに帰りゆき

中崎小夜子
湊 とおる
森 延子
名田みや女
青山 幸子
岡本夫佐子
坂井 清
湊 のぶ恵
志尾多磨子

投稿(俳句)

晴天や黄金の花の咲く棚田
浜日傘眠る我が子の臍の砂

舩越 儀雄
四宮 朋一



町民文芸のコーナーに掲載を希望される場合は、総務企画課(☎77-3611)まで連絡をお願いします。原稿は前月25日までに提出してください。